

生命科学・医学系研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学医に関する倫理委員会から承認され、医学部長の許可を得た後、公立学校共済組合関東中央病院医療倫理委員会から承認され、同委員長の許可を得て実施するものです。

研究課題名	本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討
研究期間	当院倫理委員会委員長の許可日～西暦 2024 年 03 月 31 日
当院研究責任者・分担者	循環器内科部長 伊藤 敦彦・リハビリテーション副室長 福村 和也
試料・情報の収集期間	新たな情報取得：当院倫理委員会委員長の許可日～西暦 2023 年 12 月 31 日 既存試料・情報利用： 後向き期間：西暦 2014 年 01 月 01 日～西暦 2019 年 12 月 31 日 前向き期間：福岡大学医学部長の許可日～西暦 2023 年 12 月 31 日
研究対象者	2014 年 1 月 1 日～12 月 31 日までに急性心筋梗塞で入院した患者
研究の意義と目的	過去の様々な研究結果により、心大血管リハビリテーション（以下、心リハ）は、急性心筋梗塞患者の予後を改善するとされていますが、現在の急性心筋梗塞患者における心リハの予後改善効果を再評価し、問題点を抽出後、その対策を検討し更なる普及に努める必要があります。今回、心リハの量や質による急性心筋梗塞患者の予後改善効果を確認するとともに、保険診療における妥当性などに関する問題点（費用対効果など）を抽出し、それらを検証することを目的とした全国規模の後ろ向きレジストリ研究を実施します。
研究の方法	1. 2014 年に全国で収集された急性心筋梗塞患者が無作為に抽出されます。 2. 2014 年の DPC 情報から対象患者を抽出するために必要な情報が国立循環器病研究センターから当院を含む全国の研究参加施設へ送付されます。また、DPC 情報以外の診療情報は、直接セキュリティ保護されたオンライン上のデータシート（EDC システム）へ各施設で登録します。抽出された DPC データはデータ登録事務局に郵送し、EDC システムへ登録されます。 4. 全国の研究参加施設が登録した最終データは事務局（福岡大学・琉球大学）で集約し、解析されます。
研究に用いる試料・情報	DPC 情報、診療録、検査データ、画像データ、新たに取得する予後調査情報
外部への試料・情報の提供	提供先の研究機関名と研究責任者： 福岡大学医学部 心臓・血管内科学 三浦 伸一郎 琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学 大屋 祐輔
個人情報の保護	収集した試料・情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。ご参加を希望されない場合やご不明点、ご心配なことなどがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究へのご参加をお断り頂いても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	氏名（所属）：伊藤 敦彦（循環器内科）・福村 和也（リハビリテーション室） 電話番号：03-3429-1171 対応可能時間：平日 9:00～17:00